

【平成16年度・文部科学省】

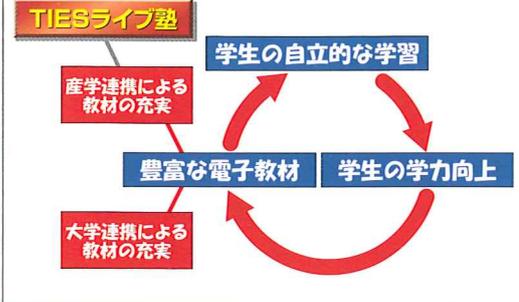
特色ある 大学教育支援 プログラム 特色 GPに

帝塚山大学の取り組みが
採択されました。

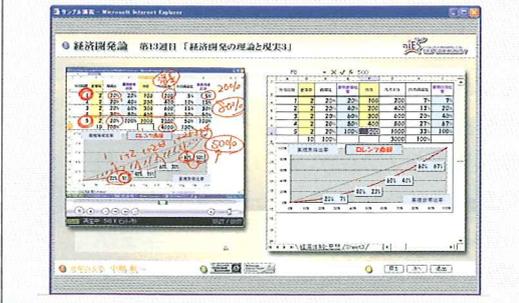
自立性を高める学習支援機能(TIES)



自立的な学習サイクルの実現 TIESの特徴



ビデオ解説と同期したシミュレーション教材 「経済開発論」(経済学部)



スライドと同期したビデオ教材 「情報ネットワーク論」(経営情報学部)



わかりやすく文法を解説する教材 「中国語」(外国語科目・全学部共通)



文部科学省の「平成16年度 特色ある大学教育支援プログラム (特色GP(グッド・プラクティス))」に帝塚山大学の取り組み「学生の自立性を高める教育学習支援システム ―TIESライブ塾とサイバーチューターを活用して―」が採択されました。

平成15年度より開始された本プログラムは、今年で2年目。今回は全国の国公立大学からテーマ例1～5に合計534件の申請があり、58件(採択率10.9%)が採択、このうち私立4年制大学からは260件の申請があり、20件(7.7%)が採択されました。本学の申請したテーマ例3(主として教育方法の工夫改善に関するテーマ)では102件の申請があり、11件(採択率10.8%)が採択されました。奈良県内では、本学のみでの採択となりました。

「特色ある大学教育支援プログラム(特色GP)」とは、大学教育の改善に資する様々な取組のうち、特色ある優れたものを選定し、選定された事例を広く社会に情報提供することで、今後の高等教育の改善に活用されることを目的としたものです。このことにより、国公立大学が、教育改善に取り組む際、採択された事例が、各大学及び教員のインセンティブになるとともに、他大学の取組の参考になり、高等教育の活性化が促進されることとなります。



帝塚山大学

TEZUKAYAMA UNIVERSITY
<http://www.tezukayama-u.ac.jp>

学生の自立性を高める教育学習支援システム

—TIESライブ塾とサイバーチューターを活用して—

日本の高等教育機関は、「全体的な学生の学力低下」、「学生の学ぶ意識の低さ」という問題に直面し、それを解決する必要に迫られています。

本学では、学生が自主的に学ぶ姿勢を育て、本学の理念である「社会に貢献する人材の育成」という目標を実現するために、1996年より、学生のための教育支援プロジェクト「TIES(タイズ)」に取り組み始めました。

TIESとは、インターネットを利用した本学独自の教育サービスです。ちなみに「TIES」とは「帝塚山インターネット教育サービス(Tezukayama Internet Educational Service)」の略です。

「教育研究支援室」「TIES教材開発室」「情報教育研究センター」そして「教員」が連携を取りつつ、この取り組みを進めています。

現在では約3600人の学生がTIES型の授業を受けています。教材数も現在では1985と年々大きく増えています。

TIESを重点的に利用している授業では、正課授業でのTIES利用回数とほぼ同じ割合(46%)で自習が行われ、**学生の勉学意欲を大きく向上**させています。

このシステムの特徴は、自習を促す予習・復習機能、授業の理解度を測る自己診断テスト、アンケートを通して講義に対する意見を述べる機能、教員と学生が双方向のコミュニケーションを図る機能を備えており、あたかも学生のそばに常に教員がいるような状態を作っている点にあります。**学生の自立的学習を促し、教育の質を上げる**うえで有効なシステムです。

さらに、本学教員の教材のみならず、連携している他の大学教員や社会で活躍している人たちの教材を活用できる環境も整えています。教材充実のための取り組みとして、**大学連携と教育の産学連携**も行い、より良い教材作りを目指しています。

社会で活躍している企業人や有識者と連携して、抽象的になりがちな大学の講義を社会の活きた事例で補足する講義も展開しています。このことを**TIESライブ塾**と呼んでいます。今年度は合計で10回実施する予定です。

本取り組みの学習支援システムは、他の大学の方々にも自由に使っていただく環境を整えています。今後も大学や社会で活躍しているたくさんの人たちと手を携え、**学生が自ら学ぶ姿勢を促し、教育の質を確保**していきたいと考えています。

理論と現実をつなぐ講義の実現 TIESライブ塾

社会で活躍している企業人や有識者と連携して、抽象的な大学講義を現実社会の生きた知見で補足する

●2003年度	実施回数: 3回
	参加学生数: 163名
	参加教員数: 6名
●2004年度	実施予定回数: 10回
	現在の実施状況
	実施回数: 3回
	参加学生数: 135名
	参加教員数: 11名

テーマ:
1. 「就職記録! 企業が求めている人材とは」
2. 「ネットショップ最新事情」
3. 「GISでみる奈良県の牛井店戦略」

2004年度 TIESライブ塾テーマ一覧

テーマ	担当講師所在地
ビジネスに生かすためのホームページとは	長野県
失敗するソフトウェア開発プロジェクト	
ソフトウェア技術者の生態	大阪府
「百聞は一見に如かず」のGISマーケティングとは	
たこ焼き屋もGISで商圏分析	東京都
流通・小売業の新規出店計画/売上予測	
難しいことを易しく伝える術	
少ないインプットを多くのアウトプットに変えるには	
「言葉」でつまづくIT問題を解消する法	
経営資産と情報セキュリティ	
会社が潰れたらどうなるか	
企業が求めるリーダー、部下が求めるリーダー	
歴史の変遷に見る経営理論の落とし穴(日本版)	
顧客が離れる仕組み(あるDSの凋落)	
燃える一言、くすぶる一言(リーダーシップって何?)	福岡県
「できません」と言えないプロは要らない	
中国との開発連携	鳥取県
個人情報保護法関連について	
ベンチャービジネスの立上げ時のポイント	北海道
顧客満足度向上への取り組み(企業のCS事情)	
就職戦線! 企業が求めている人材とは	兵庫県
データが教える経営課題	
企業の利益構造に異常あり	北海道
経営で要求されるスピーディな判断とは	
新卒者は要らない! 中途採用を重視!	北海道
地方中小企業ビジネスが生き残りをかけて	
中小企業の情報化を阻害する要因	北海道
商品(製品)一つに会社が見える	
北海道経済事情	北海道
企業が求める情報ネットワークを考える	
中小企業の社長が考えるITとは何か	兵庫県
ネットショップ最新事情	
業務改善の情報システムを知る	

TIES利用講義と連携したライブ塾の事例

参加大学: 帝塚山大学・A大学・B大学

学生の自立性を高める教育学習支援システム

日本の高等教育機関は、「学生の学力の多様化」、「学生の学ぶ意識の低さ」という問題に直面し、それを解決する必要に迫られています。

本学では、学生が自主的に学ぶ姿勢を育て、本学の理念である「社会に貢献する人材の育成」という目標を実現するために、学生のためのeラーニング型教育支援プロジェクト「TIES(タイズ)」に取り組んでいます。

16年度 特色ある大学教育支援プログラム (特色GP)

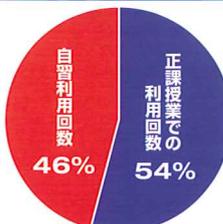
応募テーマ: 3. 主として教育方法の工夫改善に関するテーマ
 取組名称: 学生の自立性を高める教育学習支援システム
 取組開始時期: 1997年5月
 取組単位: 大学全体



学生の自立な学習

学生の学力向上

豊富な教材



本取り組みの成果

TIES型授業受講者 約3,600人
 教材数 3,228
 TIES利用クラス 105
 (2005年3月1日現在)

TIESモニターを募集しています

- TIESはASPによる提供
- 教材作成も支援
- 教材や講義の共有を実践

誰でも利用可能なeラーニングTIES

〔平成16年度現代的教育ニース取組支援プログラム(現代GP)にも、帝塚山大学の取組「知的財産の法・政策・実務に強い人材の養成」が採択されました。〕